

行政評価シート(事後評価)

コード 7-4-3	事務事業名 りさいくる市の開催	所管部課 生活環境部ごみ減量推進課
--------------	--------------------	----------------------

事務事業の概要	事務事業の目的		根拠法令等	
	フリーマーケットを開催し、家庭内の不用品等のリサイクルを図る。		<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領	
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要 (団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要 (国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額) 等			
	毎年度、4～12月に、原則として第一日曜日にフリーマーケットを開催している。田無庁舎と保谷庁舎で交互に開催している。			
事業開始時期	13	年度	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	事業費(A)					
財源: 国庫支出金・都支出金	千円					
財源: 地方債						
財源: 内: その他 ()						
財源: 外: 一般財源		0	0	0	0	
所要人員(B)	人		0.30	0.30	0.30	0.16
人件費(C)=平均給与×(B)	千円		2,456	2,448	2,448	1,306
臨時職員等賃金(C')	千円					24
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円		2,456	2,448	2,448	1,330
単位当たりコスト (E)=(D)/ (開催回数)	千円		491	272	272	#DIV/0!

評価指標の設定	活動等指標		単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	開催回数	実績値	回	5	9	9	
出店応募数	実績値	人	1,025	1,418	1,511		
(指標の説明・数値変化の理由 など)							
評価指標の設定	成果指標		単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	一次 出店数	目標値	店	350	630	630	490
実績値		店	350	630	630		
二次 来場者数	目標値	人	5,000	9,000	9,000	9,000	
	実績値	人	5,596	9,316	9,207		
(指標の説明・数値変化の理由 など) 毎回の出店希望者が多いため、店舗数は絞って開催している。 来場者数 = 出店者を含めた延べ人数							

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	応募者から回数を増やしてほしいとの要望もあり、市民のニーズやリサイクルの意識は高い。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	近隣市で同様の事業を実施している市もあるが、自治体以外の主催で開催していることが多い。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	民間団体等がフリーマーケットを実施しているが、出店料を取るものが多く、無料実施している市の本事業へのニーズは高い。

コード 7-4-3	事務事業名 りさいくる市の開催	所管部課 生活環境部ごみ減量推進課
--------------	--------------------	----------------------

【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>市民ニーズが高く、来場者も多いことからリサイクルの推進と意識啓発には欠かせない事業である。行政以外の実施主体もあるが、市が今後のごみの減量と資源化を訴えていくためにも先頭に立って啓発する必要があり、今後とも事業を継続実施していく。平成20年7月にエコプラザ西東京が開館するので、保谷庁舎での開催をエコプラザ西東京へと変更するとともに、対応職員数の見直し、エコプラザ西東京協力員の活用を図り、費用対効果をあげていく。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	1			
事業内容等の適切さ	3			
受益者負担の適切さ	2			
市民ニーズの把握	3			

【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	1		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>家庭内の不用物品のリユースを図る上で、リサイクル市を開催することの意義には一定の理解はできるが、市が直営で行う必要があるかどうかについては疑問が残る。市が直営でやらないことにより、反対に開催回数を増やすことができるのではないかと考えられる。出店者が無料である必然性の検証、実行委員会形式等の実施主体の見直し等、事業実施のあり方について抜本的に再検討を要するものとする。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	1			
直接のサービスの相手方	1			
事業内容等の適切さ	1			
受益者負担の適切さ	1			
市民ニーズの把握	1			

【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>地球温暖化対策やリサイクル推進に向けた市民意識の啓発のために必要な事業であり、出店応募も増えていることからこれまでの取組の効果も見受けられる。今後は、平成20年7月にエコプラザ西東京を開設したことを踏まえ、協力員の活用等の工夫による実施や、将来的にエコプラザ西東京の運営をNPO等に委託する場合の主要事業として確立するといった視点も踏まえて、事業運営の改善を図られたい。</p>